

—アカヤジオウ—

シソ目 ゴマノハグサ科 レーマンニア属(アカヤジオウ属)



図 1. アカヤジオウ (東京理科大学 植物園)
2021/05/12 撮影



図 2. 地黄 (東京理科大学 生薬標本室)
2021/05/26 撮影

学名 : *Rehmannia glutinosa* var. *purpurea*

基原植物和名 : アカヤジオウ (赤矢地黄)

基原植物英名 : Glutinous rehmannia

産地 : 中国、朝鮮半島、日本 (北海道、長野、奈良)

薬用部位 : 根

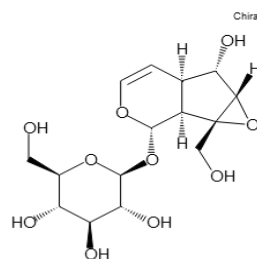
主な薬効 : 止瀉、緩下、利尿

漢方処方 : 六味丸 (六味地黄丸)、八味地黄丸、四物湯、炙甘草湯

主要成分 : イリドイド配糖体 カタルポール、レーマニオシド A~D

フェネチルアルコール配糖体 アクテオシド

ヨノン配糖体 レーマイオノシド A, B



カタルポール

薄紫のジギタリスに似た花を咲かせる中国原産の多年草。初夏、総状花序を頂生し、長柄の淡紅紫色の筒状唇形花を開く。花茎には小形の葉を互生。有柄で厚質縦じわの長楕円形の根生葉を叢生。

漢方薬の地黄は製法により名称が異なる。

乾地黄…生(鮮)地黄を自然乾燥させる。 熟地黄…生地黄を水や酒で蒸してから乾燥させる。

一般的に地黄というと、乾地黄を指す。

ジオウの他の基原植物としてカイケイジオウ (学名 : *Rehmannia glutinosa* Liboschitz) がある。カイケイジオウはやや大型で、葉も大きく根は肥厚する。和名を「さおひめ」というが、日本では野生には見られない。武田薬品工業(株)が、日本産地黄の栽培による安定供給を図る目的で、日本産アカヤジオウとカイケイジオウを交配させた新品種(フクチャマジオウ)を作出した。

—参考文献—

富士フィルム和光純薬株式会社 カタルポール標準品 <https://labchemwako.fujifilm.com/jp/product/detail/W01W0103-1055.html>

生薬単 改訂第2版 著:原島広至 株式会社エヌ・ティ・エス

現代医療における漢方薬 改訂第2版 監修:日本生薬学会 南江堂